

児童書

ねこはまいにちいそがしい



シヨール・ウィリアムソン作・絵 (徳間書店)

(3~5歳向け)

うちの家族は、ねこのほくがいないとだめなんだ。仕事も遊びもいっしょうけんめいで、家族が大好きなねこの、いそがしい一日を描く。ねこ好きなすべての人に贈る、ゆかいで楽しい、読み聞かせにぴったりな絵本。

一般書

人とどうぶつの血液型



近江 俊徳 編著 (緑書房)

人の血液型は何種類ある？動物たちに血液型はある？そもそも血液型ってなんのこと？科学的な内容から雑学的なものまで、知っているようで知らない血液型の不思議や面白さを、イラスト・写真とともに紹介します。

一般書

ラクして続く、家事テク



牛尾 理恵 著 (朝日新聞出版)

いつもすっきり＆ピカピカな、牛尾さんちの家事の秘密を大公開！家事がラクになる考え方や掃除・収納のテクニクを、キッチン、洗面所、浴室、トイレ、リビング、寝室など場所別に紹介する。掃除アイテムも解説する。

一般書

おりがみで作る入れ子の箱



布施 知子 著 (誠文堂新光社)

箱の中に箱を入れる「入れ子の箱」を作りましょう。色紙を工夫し、寸法を考え、六角形の箱に三角形の箱を入れたり、長方形の箱を入れたり。すべて一枚の紙から折る「入れ子の箱」の作り方を紹介。

豊山俳句クラブ

青山克己 選

田村多喜子

門火焚く鉄の扉を少し開け

坪井昭子

木道にまた老鶯の銜せり

杉浦みどり

予期もせぬ計報遠くに蝉しぐれ

岡島 齋

炎昼や潜り戸暗き大伽藍

坪井径子

緑陰に微かなる風生まれけり

青山とも子

緑陰の水を掬ひし平らかな

豊山歌壇

水野笑子 選

井上とよほ

心地よき会話のできる友有るを  
幸と思ひて日々を過ごさむ

木村和子

丁寧につくり生きやう老いの日の  
自由自在を感謝しつつに

小出寿枝

庭隅に桑の木実を付け丈伸びる  
皇后さまのみ顔の浮かぶ

佐藤良子

伯父伯母の墓に参りてなつかしき  
穂高の宮にお参りをする

水野眞弓  
爪を切る何処ともなく虫の声

谷崎 琴

孫の手に線香花火のはじけをる

黒澤裕子

敗戦忌忘れさられし昭和かな

高木須磨子

空席に置かれし帽子晚夏光

山下敬太

レンズには収まりきらぬ虹立てり

石黒貴代子

炎天に水の地球の叫びをる

青山克己

無に生まれ無に帰ります蝉時雨

柴田満枝

老い先は地図になき道一生なり  
叔母は突然黄泉の国へと

鈴木久子

窓辺より見ゆる緑の清しきよ  
初夏の訪れほつと息する

中澤芳子

車庫隅の錆びし自転車は廃品と  
娘の云ふなり老いは淋しき

水谷弘子

ひたすらに無事を祈れり災害地  
安否不明の広島の甥

水野勝代

残り世の悔いなき人生送らむと  
一日一日を丁寧に歩む

山田 米

前世は犬なりしかとどの犬にも  
熱き心で笑顔で挨拶

編集後記

家族崩壊の危機を乗り越えた半生を綴り十二万部を超える著書が反響を呼んだ佐々木常夫さんが来町する。仕事も家族もあきらめないという生き方はテレビなどにも多く取り上げられ、各地で講演を重ねている▼著書『ビッグツリー』には、肝臓病とつづ病を患い入院を繰り返す奥様や荒れるご子息に加え、東京・大阪間での六度に及ぶ転勤など、過酷な状況が記されている。東レの取締役になされた年、激務と比例するように奥様の病状が悪化。壮絶なのは、自殺未遂を図り、手術を終えた奥様を前にした場面。それでも、「絶対良い日は、笑い合える日は必ず来る」と、心細い心境になりながらも信じていたと、述懐されている▼ワークライフバランスのシンボルの存在として紹介されることの多い佐々木さん。働き方のノウハウもさることながら、根底にあるのは、「家族愛と」「なんとかなるさ」という楽観的人生観ではないか▼著書の新版には、困難から抜け出した家族全員がそろって出席した出版記念パーティーの様子がおさめられている。十二月九日の講演会で、奇跡の家族再生を果たした生き方や考え方の一端に触れてみてはいかがか。